

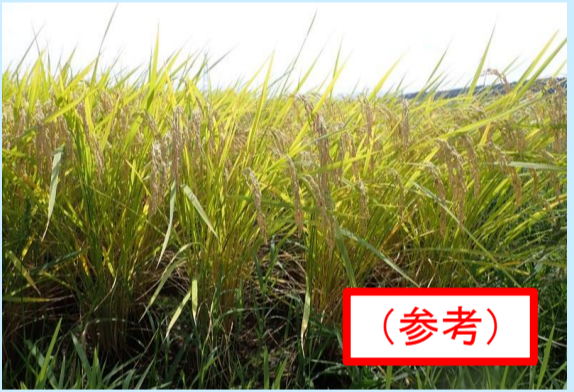
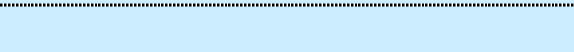

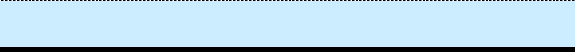


2022年 水稻作柄解析試験における生育状況

福島県農業総合センター
9/13 現在

コシヒカリ							
場 所	移植日	稈長	穂長	穂数	成熟期	籾黄化率(%)	ほ場の様子・備考
	年次	(cm)	(cm)	(本/m ²)	(月/日)	(出穂期+30日)	
本部 (郡山市)	本年	98.0	18.1	393	未達	21.8	
	前年	93.1	18.7	423	9/23	4.7	
	平年	90.9	18.0	436	9/26	(26.5)	
	平年比・差	108	101	90	-	-4.7	
	(参考)収量構成要素						
5/16移植		精玄米重	穂数	1穂籾数	登熟歩合	千粒重	 <p style="font-size: small;">稈長は平成18年以降、最も長い。</p>
	年次	(kg/a)	(本/m ²)	(粒/穂)	(%)	(g)	
	前年	63.3	423	86.2	78.2	22.3	
	平年	61.4	436	74.6	87.6	21.9	
会津 (会津坂下町)	本年	(欠測)	(欠測)	(欠測)	(欠測)		
	前年	92.7	19.9	455	9/20		
	平年	92.4	19.1	447	9/18		
	(本年参考値)	93.0	18.6	384	未達		
	(参考)収量構成要素						
5/19移植		精玄米重	穂数	1穂籾数	登熟歩合	千粒重	 <p style="font-size: small; color: red; border: 1px solid red; padding: 2px;">(参考)</p>
	年次	(kg/a)	(本/m ²)	(粒/穂)	(%)	(g)	
	前年	68.0	455	75.6	85.3	22.9	
	平年	68.2	430	79.3	86.3	23.0	
浜 (相馬市)	本年	99.9	19.4	(408)	未達		
	前年	99.1	19.2	411	9/26		
	平年	97.6	19.1	430	9/28		
	平年比・差	102	102	(95)	-		
	(参考)収量構成要素						
5/10移植		精玄米重	穂数	1穂籾数	登熟歩合	千粒重	
	年次	(kg/a)	(本/m ²)	(粒/穂)	(%)	(g)	
	前年	57.9	411	85.5	72.2	22.8	
	平年	58.8	435	82.0	74.7	21.9	

【重要なお知らせ】

上記の会津(会津坂下町)の本年コシヒカリデータにつきましては、試験に不備があったため「欠測」とさせていただきます。ご利用の皆様におかれましては、多大なるご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございません。次年度の試験の実施に当たっては、再発防止に努めて参ります。今年度のコシヒカリの生育につきましては、ほぼ同様の条件で行った別試験の栽培データを「本年参考値」として部分的に掲載いたしますので、参考にして頂ければ幸いです。

ひとめぼれ

場所	移植日	年次	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	成熟期 (月/日)	籾黄化率(%) (出穂期+34日)	ほ場の様子・備考
本部 (郡山市)	5/16移植	本年	85.2	18.3	468	未達	37.6	
		前年	80.3	18.7	488	9/11	8.6	
		平年	78.8	18.2	525	9/15	(42.5)	
		平年比・差	108	101	89	-	-4.9	
(参考)収量構成要素								
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	71.0	488	69.0	90.3	23.4	
		平年	65.0	525	60.4	92.0	22.5	
稈長は平成18年以降、最も長い。								
会津 (会津坂下町)	5/19移植	本年	90.1	18.4	538	9/12		
		前年	86.0	20.2	570	9/20		
		平年	87.4	19.4	559	9/12		
		平年比・差	103	95	96	0		
(参考)収量構成要素								
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	72.6	455	75.6	86.3	22.9	
		平年	72.3	430	79.3	85.3	23.0	
浜 (相馬市)	5/10移植	本年	94.6	19.8	(511)	未達		
		前年	91.0	19.2	520	9/16		
		平年	88.7	19.1	533	9/14		
		平年比・差	107	104	(96)	-		
(参考)収量構成要素								
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	61.5	520	68.3	76.5	22.6	
		平年	61.1	533	65.8	79.0	22.3	

天のつぶ

場所	移植日	年次	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	成熟期 (月/日)	糊黄化率(%) (出穂期+35日)	ほ場の様子・備考
本部 (郡山市)	5/16移植	本年	75.2	18.0	391	未達	43.2	
		前年	72.1	18.5	430	9/12	5.1	
		平年	69.2	17.7	483	9/16	(44.7)	
		平年比・差	109	102	81	-	-1.5	
		(参考)収量構成要素						
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	67.8	430	72.6	91.6	23.7	
		平年	64.4	483	63.3	92.3	23.0	平成23年以降、稈長は最も長く、穂数は最も少ない。
会津 (会津坂下町)	5/19移植	本年	76.0	18.3	466	未達		
		前年	73.3	19.7	518	9/16		
		平年	73.9	18.5	507	9/14		
		平年比・差	103	99	92	-		
		(参考)収量構成要素						
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	76.9	518	67.0	89.5	23.8	
		平年	79.0	507	70.5	92.4	23.7	
浜 (相馬市)	5/10移植	本年	76.5	18.9	(464)	未達		
		前年	75.7	18.9	491	9/22		
		平年	74.7	18.1	511	9/23		
		平年比・差	102	104	(91)	-		
		(参考)収量構成要素						
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	69.8	491	69.5	87.1	23.5	
		平年	69.2	515	68.8	85.3	22.7	

福笑い

場所	移植日	年次	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	成熟期 (月/日)	籾黄化率(%)	ほ場の様子・備考
本部 (郡山市)	5/16移植	本年	79.6	18.1	389	未達	-	
		前年	79.3	19.8	425	9/26	-	
		前3ヶ年	78.7	19.3	441	9/27	-	
		前3ヶ年比・差	101	94	88	-	-	
		(参考)収量構成要素						
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	66.1	425	75.9	85.4	24.0	
		前3ヶ年	64.5	441	69.6	90.5	23.6	
会津 (会津坂下町)	5/19移植	本年	83.3	19.5	431	未達	-	
		前年	81.4	20.2	418	9/24	-	
		前2ヶ年	85.3	20.1	445	9/20	-	
		前2ヶ年比・差	98	97	97	-	-	
		(参考)収量構成要素						
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	71.6	418	72.6	86.7	24.2	
		前2ヶ年	76.0	445	78.0	88.1	24.4	
浜 (相馬市)	5/10移植	本年	85.2	19.3	(408)	未達	-	
		前年	85.9	19.9	419	10/1	-	
		前2ヶ年	85.0	20.5	429	9/30	-	
		前2ヶ年比・差	100	94	(95)	-	-	
		(参考)収量構成要素						
		年次	精玄米重 (kg/a)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒/穂)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	
		前年	63.4	419	77.9	80.0	24.3	
		前2ヶ年	65.7	429	82.6	79.9	23.3	

注1) 条間30cm×株間16cmで、栽植密度は20.8株/m²(約70株/坪)である。株当たり植付け本数は4本。

注2) 福笑いの窒素施肥量は、本年・前年 基肥0.4kg/a+追肥0.2kg/a、前々年 基肥0.6kg/a+0.2kg/a。

注3) 会津地域研究所、浜地域研究所は、前年より福笑いを供試。

注4) 浜研の穂数は暫定値であるため、()とした。

注5) 籾黄化率調査は本部でのみ実施しており、平年値は前4ヶ年の平均値であるため、()で示した。